

# としまだより 6月号

浜小学校図書館 2015年 6月発行

ことしのなつやすみは…

第61回

青少年読書感想文  
全国コンクール



## としまかんろ文をかいひませんか!

原稿用紙に、たて書きで書く。

用紙の大きさ、1枚にかく字の数に決まりはありません。

どんな本の感想文を書くか…

課題図書の本か、自由に選んだ本どちらでもいいです。

(教科書、雑誌、日本語以外で書かれた本などはだめです。)

感想文の字数…

小学校低学年の部(1・2年生) 本文 800字以内

小学校中学年の部(3・4年生) 本文 1200字以内

小学校高学年の部(5・6年生) 本文 1200字以内

がっこうとしよかんが、あいている日

火、木、金 → だいきゅうけい・曇きゅうけい。

水 → だいきゅうけい

おねがい!!

・としよしつにくるときは、かならず「としよかばん」をもってきてね。

(本がはいるかばんなら、どんなものでもかまいません)

・本は、浜小学校みんなの本です。

らくがきなどせずに、大切にしてください!

ていがくねん

### 低学年(1・2年生)



森山京:作

とおくの町で仕事をしているお父さんが、ひさしぶりに、帰ってくる! くまのこは、うれしくてたまりません。お母さんに、「あした、あさつて、しあさつて」の意味を教えてもらい、「しあさつて」を楽しみに待ちます。



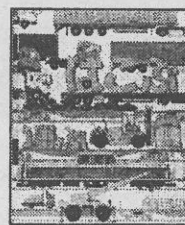
村中季衣:作

こわーいおこり顔のかあさん。ふつと、かあさんの顔がキツネに見えました。もしかしたら、かあさんは、このキツネに食べられてしまったのかも…いそがしいかあさんと結衣とのすれちがいとふれあいをあたたかくユーモラスにえがきます。



ドリュー・デイウォルト:作ト・グリーンナウェイ賞

ケビンがクレヨンの箱をだすと、自分あての手紙の束が?手紙はクレヨンたちからでした。2014年ケイ候補作。



鎌田歩:作

運ぶ乗り物や道具が関わる人々とともに集まります。もつとはやく遠く無事に届けた! あたかいかい気持ちも一緒に運ぶ、道方の一冊。

かだいとしよ



## ことしの課題図書をしようかします

ちゅうがくねん

### 中学年(3・4年生)



塩野米松:作

学校からの帰り道でなっていた清香に、竹のたばをかかえたおばあちゃんが、話しかけてきました。「じょうちゃん、わるいども、ちょっとこれもつけれ」竹のたばをおしつけられ、清香のなみだは思わず止まりました。おばあちゃんは、まほうのザル作りの名人だったのです。



佐和みずえ:作

日本人のよつちゃんと中国人のリンちゃんの間で友情がめばえました。しかし戦争で、二人は引き離され…。戦争と平和について考える読み物。



ニキ・コンウェル:作

ルワンダからイギリスの学校へ転校してきたクリストフには、どうしてもいやなことがあった。それは、お話を本でよむこと……。



城島充:作

キャンプにきていたぼくは、家族で星を見ながらいろいろな話をする。星って何個あるの?月も星なの?宇宙のふしぎにわくわくします。

こうがくねん

### 高学年(5・6年生)



西村すぐり:作

写生の時間、なつとくのいかな絵を描かされたユク。傷ついたユクは、その絵をひきさいてしまう。しかし、花が大好きな少女ハネズからはげまされ、しだいに絵を描くことの意味、喜びを理解していく。



アンナ・ウォルツ:作

サムエルが出会ったテスにはヒミツの計画があった。パパがいる人生か、いない人生かを自分で選ぶ……。家族の絆を考える物語。



ニコラ・ディビス:作

わたしたちの身のまわりにいる、目にみえない、ちいさな生きもの。微生物。その存在と、わたしたちの暮らしとの関わり、自然界での大きな役割を、子どもたちにわかりやすく伝えるイギリスの科学絵本です。



城島充:作

君に伝えたい…あきらめない心と家族の絆。ソチ銀メダルジャンパー・葛西紀明選手の半生を描くスポーツノンフィクション!